

クラウドファンディング型ふるさと納税の実施について

1 趣旨

盛岡市では、9月16日から「クラウドファンディング型ふるさと納税」を実施しています。つきましては、皆様への周知について、御配慮くださいますようお願い申し上げます。

2 実施期間

令和7年9月16日（火）～令和7年12月14日（日）（90日間）

3 内 容

(1) 祈りの灯火を実施したい！—記憶・教訓を語り継ぎ、次世代に想いをつなげる—

目標金額：150万円 寄附実績：0円（9月25日現在）※返礼品なし

URL: <https://www.furusato-tax.jp/gcf/4397>

震災で犠牲になられた方々を悼むとともに、記憶・教訓を語り継ぎ、想いをつないでいくため、もりおか歴史文化館前の広場に、牛乳パックで制作した灯籠を並べ、火を灯す「祈りの灯火」を毎年3月11日に実施しています。

震災から14年が経過し、当時を知らない若い世代も増えていく中で、震災の記憶や教訓が薄れていくことが懸念されています。また、ろうそくをはじめとした材料や機材の価格高騰や、財源として活用している東日本大震災復興推進基金も減少し、令和8（2026）年は実施できる見込みはあるものの、令和9（2027）年以降は事業実施が難しい状況となっています。



(2) まちの記憶を次代に継承していきたい！（武田邸等修繕プロジェクト）

目標金額：830万円 寄附実績：15,000円（9月25日現在）

URL: <https://www.furusato-tax.jp/gcf/4398>

昭和初期の盛岡市の代表的な住宅である景観重要建造物「武田邸」は、市民から寄贈された後、年に数回庭園が一般公開されています。しかし、経年劣化により屋根に雨漏りが生じ、現在は防水シートによる応急処置のままとなっています。また、市の保護庭園に指定されている池泉築山回遊式庭園も、ポンプに不具合が生じて以降水を溜められなかったり、樹木の繁茂が顕著になったりするなど、本来の美しさを失っています。ご寄附は、これらの修繕費用の一部として活用され、武田邸本来の美観を取り戻すために役立てられます。



(3) 170年以上受け継がれてきた、原敬が生まれ育った家「原敬生家」を守りたい！！

文化財・原敬生家の茅葺屋根等修繕プロジェクト

目標金額：700万円 寄附実績：82,000円（9月25日現在）※返礼品なし

URL: <https://www.furusato-tax.jp/gcf/4396>



（裏面に続く）

盛岡市指定有形文化財「原敬生家」は、平民宰相・原敬が生まれ、15歳まで過ごした家です。その茅葺屋根は先人の知恵が詰まった伝統的な屋根ですが、その維持には高度な技術と多額の費用が必要です。一方、近年の異常気象による豪雨やカラスによる茅の抜き取り等により、生家のシンボルである茅葺屋根の劣化が進み、建物の維持が困難になってきています。現在、東西南北全ての屋根が損傷しており、全面葺き替えには必要経費を含め約2,700万円が必要です。今回は特に緊急性の高い西側屋根の葺き替えを優先し、目標金額を700万円に設定いたしました。

【担当】

総務部危機管理防災課

課長 新井田 昌幸

電話：019-603-8031

都市整備部景観政策課

課長 三橋 一仁

電話：019-601-5541

盛岡市教育委員会事務局歴史文化課

課長 遠藤 征司

電話：019-639-9067